

# Case 12

身体にがんが見つかり、足の感覚低下、コントロールが困難なため、車椅子生活となる。リフティブ開始後、右肩腱板断裂のため手術を受け、右腕が以前のように動かさなくなったLさんの実例

## 目標

Goal

- ✓ 歩行し、家族と外出する（トイレも一人で！）
- ✓ 右腕を以前のように動かす



リフティブ  
実施期間

2025年  
7月開始

週3回 × 8か月間実施

2026年  
2月卒業

入院

## リハビリ 内容

- 足のコントロール良くするため、同じ位置に足を動かす反復練習
- 棒をまたぐバランス訓練
- 段階を踏んだ歩行練習  
(平行棒内の歩行訓練→歩行器での歩行訓練→2本杖での歩行訓練→何も使用しない歩行訓練)
- 右腕の柔軟性・筋力向上をはかるストレッチと重りを使用した訓練
- 個室トイレを使用した実際のトイレ動作の訓練

## リハビリ中の 変化

はじめは平行棒内を足元を確認しながらゆっくり歩行していたが、最後には2本杖で50mを歩くことができるように。短距離であれば、何も使用せず歩くことが可能に！自宅内の移動も車椅子から歩行器へと変わり、家族の介助量が軽減。右腕の筋力も上がり、以前のように頭を洗い、服を着ることができるようになった。

## リフティブ卒業後



家族とパン屋へ外出し、ランチができた！



当施設の訪問リハビリでリハビリ継続！

実際にお店に行き、長距離歩行やトイレ動作、買い物動作などの訓練実施中！



### 担当リハスタッフからのコメント

長い時間リハビリを行うことで、バランスや筋力などの機能面へのアプローチに加えて、日常生活で必要となる動作もしっかりと訓練することができました。本人もできることが増えたことで自信が付き「今後は〇〇へ行きたい」とより活気に溢れていました。家族と色々な場所へ外出ができるように、引き続きリハビリを頑張っていたきたいと思います。

祝  
卒業

